



SDGsプロジェクト



3 すべての人に健康と福祉を



目標3

すべての人に健康と福祉を

目標内容はすべての人の健康的な生活を確保し、福祉（最低限の幸福と社会的援助）を促進する。

世界の現状

体調が悪い時、日本では当たり前のように病院に行きますが、海外では医療制度が整っていなかったり、医療費がすべて自己負担であったりと、必要であっても十分な治療を受けられない人が36億人、世界人口の約半数います。

そして、世界では5才になる前に亡くなってしまふ子どもが年間約520万人もいます。これは5秒に1人の子どもが命を落としている計算になります。子どもが命を落としてしまう原因として、医療保険などの問題で病院に行けないことに加えて、必要な予防接種やワクチン接種を受けることができないことがあります。

これらの課題を解決し、すべての人が健康的に生きていくための目標が、ゴール3「すべての人に健康と福祉を」になります。

基礎的な医療保険サービスを受けられない人



5才になる前に亡くなってしまふ子ども

世界で年間約520万人



沖縄県の現状

日本は世界でもトップクラスの長寿国です。その理由の一つは、しっかりとした医療体制や保険制度により、多くの人々が適切な治療を受けられることだと考えられます。

しかし、沖縄県においては、以下のような健康問題が指摘されています。



50代男性の肥満は2人に1人！これは全国平均の1.6倍



アルコール性肝疾患死亡率全国平均の2倍



糖尿病腎症による新規人工透析導入患者数は全国平均の1.85倍

昭和60年には男女共に平均寿命1位でしたが、平成27年には男性36位、女性7位と特に男性の健康問題が深刻となっています。



ちなみに、健康とは肉体的な健康だけでなく、「心の健康」も含んでいます。沖縄県は、自殺やうつ病では全国平均を下回っていますが、貧困、失業、離婚などが原因となって心の健康を保てなくなることも想定されます。

参考：健康おきなわ21

恩納村として取り組んでいること



健康保険課：健康づくりのための情報提供（ホームページや広報）、イベント開催（健康福祉まつり等）、各種健（検）診及び保険相談など

福祉課：児童支援、高齢者支援、母子支援、障害者支援、生活保護支援など

個人でもできること



- 各種健（検）診を定期的にする。
- 運動の習慣化、食生活の改善など、健康に気をつける。
- マスクの着用やアルコール消毒を徹底し、感染症にかからないようにする。（広めないようにする）
- 交通事故に遭わないようにする。（起こさないようにする）
- 各種支援を必要としている方に必要な支援を紹介する。

お問い合わせ：恩納村SDGs推進事務局（企画課内） ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com



恩納村のSDGs取組情報